

鳥取県立美術館の来館者の状況等について

令和 7 年 6 月 5 日
鳥取県地域社会振興部美術館

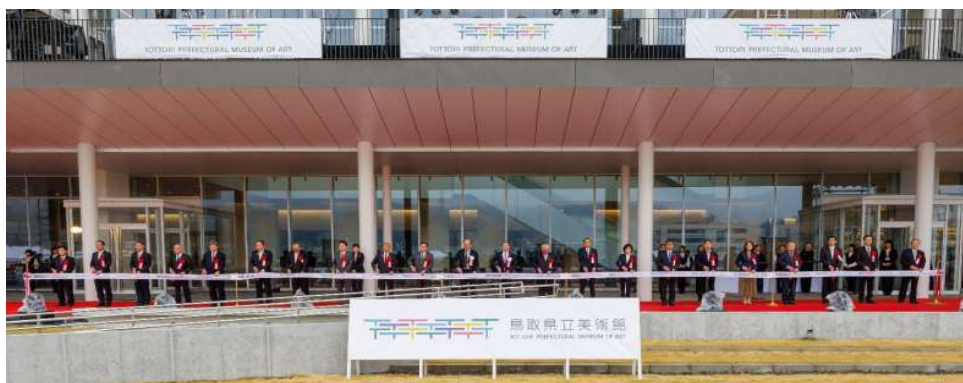
1 開館前後の様子

(1)開館記念式典、関係者内覧会（3月28日）

開館記念式典は、約200名の方にご出席いただき執り行いました。

県内の経済、地域、文化団体の代表者等22名の方によりテープカットを行いました。

午後からの関係者内覧会には招待者約50名が参加され、記念シンポジウム①「美術館建築について」（登壇：楨総合計画事務所 代表取締役 亀本ゲーリー氏）には一般来館者、内覧会招待者ら約100名が聴講しました。



えんがわでのテープカットの様子



シンポジウム第一部「美術館建築について」

(2)オープニングイベント・関係者内覧会（3月29日）

オープニングイベントでは、屋内・屋外含め、15,000名を超える皆様にご参加いただき、県立美術館の開館を盛大に祝っていただきました。

○記念シンポジウム②「ほんとに美術館って必要なの？ —ミューゼオロジー再考」（ゲスト：森村泰昌氏（美術家）、やなぎみわ氏（美術家・舞台演出家））…約150名が聴講

○パレード オン パレード

○アート&クラフトマーケット

○ミュージックセレブレーション

○びじゅチューン！コンサート（エスパック未来中心大ホール）…約2,300名

○関係者内覧会…240名



(3)グランドオープン（3月30日）

○開館初日の来館者 約3,500名

2 来館者数（開館から6月1日（日）までの集計）

期 間	来館者数	うち、企画展・コレクション展観覧者数
3月30（日）～6月1日（日）	79,652名	43,790名
[参考] 4月26日（土）～5月6日（火）	24,033名	12,594名

※開館初日3月30日（日）の来館者数 約3,500名

※休館日（原則、月曜日）4月7日、14日、21日、5月12日、19日、26日（4月28日、5月5日は開館）

※ゴールデンウィーク期間中の5月5日（月・祝）には5,562名／日の最高来館者数を記録

3 ゴールデンウィーク期間中のトピックス

(1) 開館時間を延長する夜間開館の実施（5月3日（土）、午後5時～午後9時）

日中になかなか美術館へ行けない、昼間とは違った美術館を楽しみたい等といった方向けに夜間開館を初めて実施し、229名の方に昼間と異なる雰囲気夜の美術館を楽しんでいただきました。中にはWEBサイトで案内を見られて来館された埼玉県の旅行者などもおられました。

(2) 「ようこそ！ティーモア※市場」の開催（5月5日（月）、午前10時～午後4時）

美術館の正面玄関がある東側エントランス付近に飲食や雑貨等のブース計17店舗が出店し、「ティーモア市場」を初開催しました。美術館前が一層の活気にあふれ、多くの方で賑わいました。
※ティーモア（TMOA）：Tottori prefectural Museum Of Art（鳥取県立美術館）

(3) 「体験的学習等休業日」を活用した小中高校生等の来館 45名

（4月28日（月）、4月30日（水）～5月2日（金））

家庭及び地域における体験的な学習活動のための休業日を活用して県内小中高校生等が来館し、企画展等の鑑賞やワークショップでの創作体験などを楽しまれました。

※同伴保護者は観覧料を減免（コレクション展の観覧を団体料金（320円）で提供）

4 「毎日アートを楽しめる美術館」プログラム（毎日）

- ・開館後の美術館では、毎日、企画展やコレクション展の作品鑑賞をさらに楽しむトークイベントや、創作・鑑賞のワークショップ、アートに親しむプログラム、その他、ふらっと気軽に参加できるものから、事前申込制でじっくり取り組むものまで様々な企画を実施。
- ・開館初日は約300名が参加され、美術館ボランティアTMOA+（ティーモア・プラス）のみなさんと一緒に活動を楽しみました。



スタンドカラーシートで窓面を彩るワークショップ

5 いっしょにみてみて水曜日（毎週水曜日）

- ・美術館では、毎週水曜日の午前中、小さなお子様連れの方が気兼ねなく作品鑑賞できるよう、コレクションギャラリーはお子様連れ優先としています。
- ・0歳から5歳くらいの小さなお子さんと美術館を楽しむための「いっしょにみてみてガイド」を作成・配布し、授乳室や荷物の預け先の案内、成長に応じた作品の楽しみ方などをお伝えしながら、他の来館者に御理解・御協力をお願いしています。



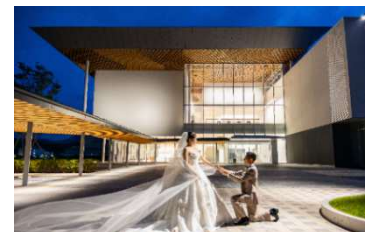
6 子ども達にアートを通じた学びを提供する「MUSEUM START BUS」の開始（5月7日（水）～）

県内すべての小学4年生をバスで招待し、学芸課スタッフ等による案内のもと、本物の作品と出会い対話による鑑賞を通じて、多様な考えに気付き、互いに認め合う心を育む等、学びの場を提供しています。

〔参加校数等（予定）〕前期（5～9月）：65校、2,429名 ※後期は今後調整予定です。

7 ユニークベニュー利用

県立美術館では、イベントやレセプションなど通常、美術館では体験できない会場の活用（ユニークベニュー）を運営に支障がない範囲内で募集・実施しています。



ウェディング写真撮影（エントリープラザ）

(1) ユニークベニュー貸館概要

①貸切利用時間

- ・開館日の午後5時30分～午後9時30分（夜間開館日を除く）
- ・休館日の午前6時～午後10時

②貸切スペース

- ・ひろま、えんがわ、テラス（2階）、展望テラス（3階）等



バイオリンとハープの演奏会（県民ギャラリー）

(2) 実施状況

- ①5月23(金)「とっとりコンベンションビューロー 2025年度コンベンション交流会」(※下の3枚の写真)
ユニークベニューのデモンストレーションとして、ホテル・観光関係者を招いて行われた立食パーティ。
- ②6月28日(土) 29日(日)「日本海新聞&NCN アーッと楽しい感謝祭 in 県美」
コレクション展パートナーの新日本海新聞社により、コレクション展無料観覧のほか、同社オリジナル企画のイベント(日本海新聞で読む・見る「昭和100年」回顧展 等)を実施予定。



(3階まで吹抜けのひろま)

(ケータリング料理は、カフェ店内)

8 今後の主な予定

(1)開館初年度の企画展

企 画 展 名	会 期
①アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術 ～若冲からウォーホル、リヒターへ～	令和7年3月30日(日)～6月15日(日)
②水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～	令和7年7月19日(土)～8月31日(日) ※夜間開館(午後9時まで) 7/19(土)、20(日)、 8/2(土)、9(土)、10(日)、30(土)、31(日)
③めでたし うるわし ときにいさまし！？ The 花鳥画 ー日本美術といきものたちー	令和7年10月11日(土)～11月24日(月・祝)
④CONNEXIONS コネクションズ ー接続するアーティストたちー	令和8年2月7日(土)～3月22日(日)
⑤江戸絵画から《ブリロの箱》まで ー鳥取県があつめた美術コレクションのバリエーション！ー(仮称)	令和8年2月28日(土)～3月22日(日) ※県立博物館で開催

(2)県立美術館との連携による主な催し

①倉吉打吹まつり

- ・8月2日(土)、県立美術館のえんがわや史跡大御堂廃寺跡歴史公園を会場に実施予定。
オープニングセレモニー、ステージイベント、にぎわい広場(出店)、みつばし踊り大会 など

②やきとりJAPANフェスティバル

- ・9月27(土)、28(日)、県立美術館の駐車場や史跡大御堂廃寺跡歴史公園を会場に実施予定。
やきとりの名店が一堂に会する日本最大級のやきとり実演イベント